

高等学校用教科書調査研究資料について

- 1 採択の権限と教科書調査研究資料の役割
- 2 調査研究の趣旨
- 3 調査研究方法の工夫・改善

高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。）用教科書調査研究資料について

1 採択の権限と教科書調査研究資料の役割

公立学校で使用する教科書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により、所管の教育委員会にその権限が属するとされている。

各都立高等学校、都立中等教育学校の後期課程及び都立特別支援学校高等部（以下「都立高等学校等」という。）で使用する教科書の採択に当たっては、採択権者である東京都教育委員会の責任と権限の下、それぞれの都立高等学校等の生徒にとって最も適した教科書を採択することが求められる。そのため、全ての教科書について、十分かつ綿密な調査研究を行うことが必要である。

そこで、都教育委員会では、文部科学省の検定を経て発行される教科書について、学習指導要領の各教科・科目の目標等を踏まえ、各教科書の特徴や違いが明瞭に分かるよう調査研究を行い「教科書調査研究資料」を作成している。

各都立高等学校等においては、校長の責任と権限の下、校内に「教科書選定委員会」を設置し、生徒の実態等を踏まえて教科書の調査研究を行うとともに、都教育委員会の作成する「教科書調査研究資料」を活用して、「高等学校用教科書目録（平成30年度使用）」に登載されている教科書のうちから最も適切な教科書を選定する。

都教育委員会は、「教科書調査研究資料」及び各都立高等学校等の教科書選定結果等を総合的に判断し、都立高等学校等で使用することが適当と認めた教科書を採択する。

2 調査研究の趣旨

教育基本法が平成18年に改正され、教育の目標として、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」などが新たに規定された。また、学校教育法が改正されて学力が法的に規定されるなど、関連法規についても改正された。

さらに、教育基本法等改正を踏まえ、平成20年1月の中央教育審議会答申において、高等学校の教育課程の枠組みについては、高校生の興味・関心や進路等の多様性を踏まえ、必要最低限の知識・技能と教養を確保するという「共通性」と、学校の裁量や生徒の選択の幅の拡大という「多様性」のバランスに配慮して改善を図る必要があることが示された。

高等学校学習指導要領は、これらの法令や答申を踏まえ、「教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ『生きる力』を育成すること。」「知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること。」「道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。」という方針に基づき改訂された。

今回の教科書調査研究では、平成25年度から全面実施された現行学習指導要領に対応した教科書について、学習指導要領の各教科・科目の「目標」、「内容」及び「内容の取扱い」を踏まえて、専門的な調査研究を行った。

3 調査研究方法の工夫・改善

調査結果を教科書調査研究資料としてまとめるに当たっては、各教科書の違いが簡潔・明瞭に分かるものとなるように配慮し、調査項目を「内容」及び「構成上の工夫」の2区分とした。

また、調査項目の設定や調査結果の集約については、各都立高等学校等が教科書を選定するに当た

って、この「教科書調査研究資料」を十分に活用することができるよう、次のような工夫・改善を行った。

(1) 内容

学習指導要領に定められた各教科・科目の「目標」、「内容」及び「内容の取扱い」等を踏まえて調査項目を設定した。設定した調査項目に沿って、各教科書の内容を調査研究し、調査結果を数値データとして集約し「調査研究の総括表」を作成した。

さらに、設定した調査項目について、教科書の内容を具体的に検討し、教科書の特徴や違いを示す具体的な事象を整理し「調査項目の具体的な内容」として一覧表にまとめた。

(2) 構成上の工夫

各教科書の構成等において、特に工夫されている点について調査研究を行い、「構成上の工夫」として調査内容を整理し、一覧表にまとめた。

【参考・調査研究資料の構成（全教科共通）】

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

調査対象は、文部科学省作成の「高等学校用教科書目録（平成30年度使用）」に登載されている文部科学省検定済教科書のうち、平成28年度に行われた検定において、新たに合格した213点である。

冊数は同目録の第一部に登載された教科書の点数である。

また、「発行者」には同目録に登載された「発行者の略称」を用い、掲載順は教科書番号順とした。

2 学習指導要領における各教科・科目の目標等

学習指導要領に基づく調査を行うため、各教科・科目の「目標」並びに「内容」及び「内容の取扱い」について、学習指導要領からの抜粋を記載した。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（「別紙1」）

学習指導要領の各教科・科目の「目標」、「内容」及び「内容の取扱い」等を踏まえ、調査項目を設定し、調査研究を行い、その結果を数値データとして集約し一覧表で示した。

イ 調査項目の具体的な内容（「別紙2」）

設定した調査項目について、教科書の内容を具体的に検討し、教科書の特徴を示す具体的な事象を整理し、一覧表にまとめた。

なお、その他（*）の項目については、調査の結果、全ての教科書で扱いのなかった項目を、「調査の結果、記載のないことを確認した。」とし、「別紙2」を省略している。

(2) 構成上の工夫（「別紙3」）

各教科書の構成において、特に工夫されている点について調査研究を行い、その結果を分かりやすく記述した。